

昭和55年12月20日発行（毎月2回1日～15日発行）編集と発行／南国市広報委員会／事務局／企画財政課広報広聴係



はや師走、今年もあとわずか……

（長岡東部保育所、12月2日）

あなたと市政をむすぶ★★★★★

広報 なんこく 12/20 1980 No.326

編集・発行／南国市広報委員会

吉岡山カット、来春早々に着手



今後の焦点は……。

跡地利用・周辺整備など

高知空港拡張とともに「吉岡山の切り取り」について、地元・県・市の三者は、これまで、大篠小学校の改築、跡地利用・周辺整備などの地元から出された切り取りの条件をもとに話し合いを続けてきましたが、十一月一日の三者の話し合いのなかで、「ジェット機就航までに大篠小の改築と番長中の騒音対策を行う」という

運輸省の回答（小笠原市長らが陳情）が示され、これをうけた地元は切り取りを事実上了承し、来年早々には着工、三月下旬には完工することになりました。

その姿を変えていく吉岡山。しかし、この切り取りには、跡地の利用方法や周辺の整備など、まだ、まだ多くの問題が残されています。

大篠地区民の心のふる里「吉岡山（別名・鯨山）」——高知空港拡張とともに、この吉岡山の切り取りが決定したのは一年前。

地元では、遅ればせながら地元組織「大篠地区周辺環境整備推進会」を九月に結成し、吉岡山の切り取りを了承する条件として……

①大篠小学校の運輸省サイドでの改築②切り取り後跡地利用③周辺の整備 この三点を柱として、県・市との話し合いや要望書づくりを進めてきました。

一方、市と議会では十一月二十七日、小笠原市長・島内議長・橋本空港対策調査特別委員長が運輸省に対して、最後ともいえる「大篠小の運輸省サイドでの改築」を陳情しました。運輸省の回答は「ジェット機就航までに大篠小の改築

まだまだ多いので、最後まで責任をもってください」と「切り取りの事実上の了承と、残された跡地利用や周辺整備への取り組みを強く要請しました。

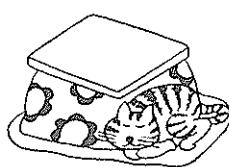
これにより、県は来年一月十日頃から切り取りの工事を始め、三月下旬には五七・四三haの工事を完了させる計画です。

今後の問題の焦点は①跡地の具体的な利用方法・施設設置計画②地元からはグランド、テニスコート、プール、老人と子どもの広場、遊歩道、フィールドアスレチック、文化センター、駐車場などが希望されていますが、どの程度のものが実現されるかによってカットの高さが決まってくるので、なお検討の必要があります。③周辺の整備

④地元からかなり広い範囲での道路、水路、公民館の改築などの要望が出されていますが、はたしてどれくらいが整備されるのか、関係機関の協議が続ければ……

時間六十分の雨に耐えられるよう直徑四十五mのコンクリート側溝を予定している」と説明。

これに対して、地元推進会は「さらにカットが必要だし、課題は



—南国市この一年—

3月



南国市振興計画作成を約束

本市には、財政再建、し尿処理の深刻な課題と空港、南国(領石)インターチェンジ、東部流域下水道、十市パークタウン、医大、阿佐線などの大きなプロジェクトが目白押し。

3月定例市議会の一般質問の中で、大きく変ろうとする『過渡期』の本市には基本構想がなく、具体策にとぼしいことが指摘され、

『振興計画作成』の必要性がさけられました。これをうけて市長は、振興計画作成を手がけることを約束しました。

2月



市連合婦人会が20周年

教養を高め、婦人の生活と地位の向上を図ろうと、昭和35年2月3日、市が発足した直後に結成された『南国市連合婦人会』(会員=3235名)が20周年を迎えるました。

結成されて以来、さまざまな活動が行われて来ましたが、なかでも『市政会議(昭和36年までは模擬市議会)』は、市政を知る上において重要な位置を占め、市連合婦人会の活動の大きな柱になっています。

北部運動公園用地として買収していた比江山は、この議決によつて木材畠地に変わることになりました。

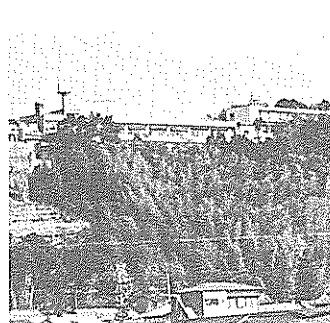
2月

比江山処分、
臨時議会で可決

財政再建のカギをにぎり、市の懸案となっていた『比江山(約10ha)』を県中央木材工業畠地協同組合に9億円で売却する件について、2月8日、臨時議会が開かれ、『市の財政再建にはやむを得ない』ということで、条件つきながらも全会一致で可決されました。

北部運動公園用地として買収していた比江山は、この議決によつて木材畠地に変わることになりました。

6月



『土佐希望の家』が10周年

昭和45年6月、多くの困難や障害をのりこえて建設、開園された小笠の心身障害児施設『土佐希望の家』が10周年を迎え、6月8日、関係者約170名が参加して記念式典が行われました。

職員・園児の和と周囲の人々の理解によって10年が経過、これからも人間の生きる権利の最後のとりでとして、愛の手をさしのべなければなりません。

5月



市内の農業用施設
相次いで落成

農業の近代化をめざす市内の農協で、立派な施設が相次いで落成。

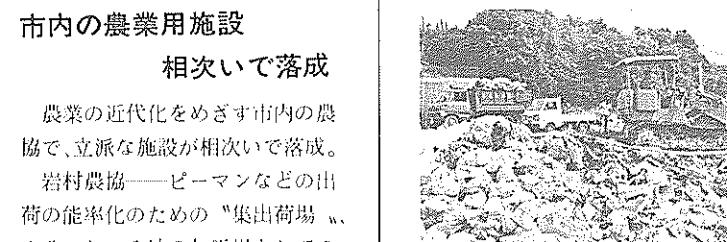
岩村農協——ピーマンなどの出荷の能率化のための『集出荷場』、みそ、しょう油の加工場としての『農産物簡易加工所』をそれぞれ建築。

南国市農協——糞尿公害の防止と土壤づくりとに『堆肥センター』、みそ造りなど米消費拡大にと『みそ加工講習所』をそれぞれ建築。

これらの施設は、農家の営農面に一役買つことが期待されています。

この間、家庭から出された不燃物ゴミは、市役所北側の駐車場に野積みされ、深刻な状態になりましたが、地元と公害防止協定が結ばれ、21日ぶりに投棄が再開されました。

4月



不燃物ゴミ埋立地閉鎖

市内の家庭から出る『不燃物ゴミ』を投棄している『片山の不燃物ゴミ埋め立て地』が、『ゴミの埋め方、管理がずさんである』として、地元民が投棄の一時ストップを要求。市側に埋め立て地の環境整備を申し入れました。

また、空港ビルについては、第三セクター方式による管理運営がなされることも明らかになりました。

私たちの生活は、だんだん苦しくなっているような気がしてなりません。

社会保険があぐれている日本では、教育、結婚、マイホーム、老後などのための貯蓄も必要……となれば、『節約』ということになります。

国政史上初の『衆参ダブル選挙』は自民党が圧勝、『令夏』は農家や商店に大きな被害を与えました。

本市でも、市民税は標準ですが、国定資産税は全国のトップクラス、国保税も上昇の

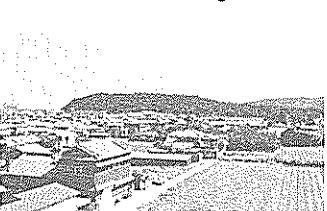
一途、諸物価高騰で『苦しさ』の実感が強いこのごろです。

市の財政状態は、相かわらず苦しさが続きます。行政水準をさげることなく、借金を返していくことは並たいていではありません。市民、議会、市職員の努力が必要です。

空港、高速道路、インターチェンジ、東道路、医大周辺の市街化区域編入、黒潮ライン、十市パークタウンなど、大型プロジェクトがひしめき、まだまだ努力をはらわなければなりません。

『来る年』に夢をたくし、南国市の発展を祈つて……。

2月



溝渕くん、NHK青年の
主張で優秀賞

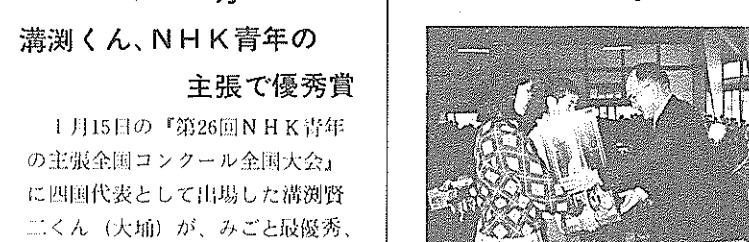
1月15日の『第26回NHK青年の主張全国コンクール全国大会』に四国代表として出場した溝渕賢二くん(大塙)が、みごと最優秀、文部大臣奨励賞に輝きました。

溝渕くんは県立農業高校3年生、高知県子供会連合会のリーダーとして活躍、3級腹話術師の特技を生かして幅広い活動をしており、その体験をもりこんだ『私の挑戦』と題する『笑いのボランティア活動』を発表したものです。

笑いをさそった意見発表は、広くみなさんに好感を与えました。

また、空港ビルについては、第三セクター方式による管理運営がなされることも明らかになりました。

1月

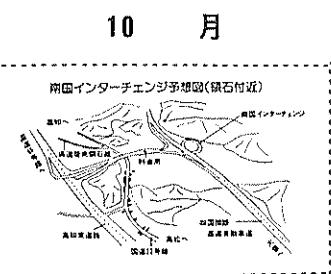


大篠小・浦臼小が姉妹校に

大篠小学校と北海道の浦臼(うらうす)小学校が1月24日、姉妹校の縁組みをしました。

両校を結びつけたのは、明治時代国會議員を辞め北海道に入植した、大篠小校下の住吉野出身の武市安哉(1847~1895)。安哉は、浦臼小の子どもたちに『浦臼を開拓し、学校を開いた人』と親しまれている人物。

当日は、浦臼小学校から虎尾利一校長が来校。協定書の調印後、式典が行われ、両校の『友情を深めていく』ことを約束しました。



10月 南国インター、 地元との設計協議へ

四国横断高速自動車道の「南国（領石）インターチェンジ」についての話し合いが10月15日、「南国インターチェンジ対策協議会総会」のなかで行われ、道路公団、県、市の三者からほぼ地元の要求にそったかたちの回答が出され、協議会はこれを了承しました。

今後、公団の青写真をもとに地元関係者との協議が進められ、くい打ち、測量、用地買収などの難題が残されています。

10月

高知空港拡張整備

本体工事着工

50年代末のジェット機就航に向けて進められている「高知空港拡張整備事業」の本体工事の起工式が10月23日、新滑走路となる秋田川左岸の現地に、関係者約140人が出席して行われました。

新空港は完成すると、現在の約3倍になり、それに要する経費は、滑走路の拡張工事（2000ha）、周辺整備工事、騒音対策工事、吾岡山の切り取り、ターミナル工事など合わせると約500億円のぼるともいわれています。

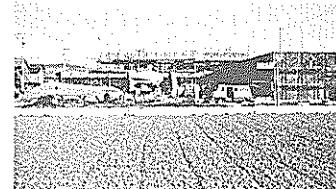


全国一斉に国勢調査

国の最も基本的な統計調査である「国勢調査」が、10月1日に実施されました。

南国市では、231人の調査員が調査にあたり、昭和55年10月1日現在の南国市の人口、世帯数は、人口44,866人、13,744世帯（昭和50年10月1日——人口43,585人、13,482世帯）とわかり、昭和50年に比べ、人口で1281人、262世帯が増加し、人口は少しずつ増えていることがわかりました。

8月



国府小学校、 後免保育所改築工事着工

国府小学校は、教室数が不足していることや、老朽化していること、比江山を木材団地へ売却する際の地元との約束になっていたことから改築されることになり、鉄筋3階建て、工事費2億500万円で、来年3月に完成します。

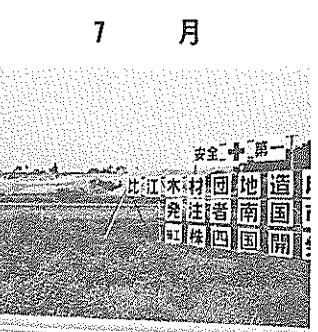
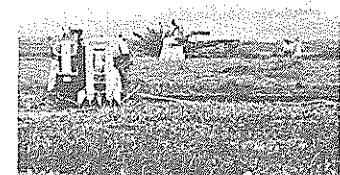
後免保育所は、施設の狭隘や老朽化などから改築されるので、鉄筋2階建て、工事費1億850万円で、来年3月には、後免野田小学校の南、旧土電軌道敷地横に完成します。

8月 冷夏、長雨の異常気象

香長平野の夏——それは農家にとって一年中で最も忙しい時期です。

早生稻が黄金色に色づきだすと農家は暑さをこらえ、コンバインを動かし、収穫を喜びます。このような光景は例年見られる風景ですが、今年は雨ばかりの、涼しい日が続き収量も激減。中旬には終るはずの稲刈りも9月までつづき、農家にとっては散々な夏でした。

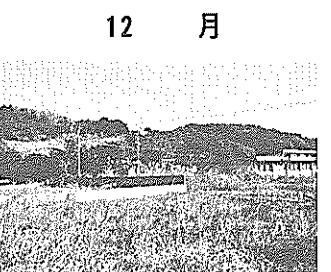
今年の8月、南国特有の照りつけるような「日ざし」は、ほんの4～5日しか見られませんでした。



7月 比江山造成工事着工

高知県中央木材工業団地協同組合へ9億円で売却することになった「比江山」の10haの造成工事の起工式が7月17日、小笠原市長ら関係者多数が出席して行われました。

この造成工事は、標高50～28mを35mにならすもので、工事費4億2千万円を投じて年内に完成、大きく姿を変えて木材団地へ引き渡されることになりました。



12月 吾岡山カットGO！

高知空港拡張とともに吾岡山の切り取り問題——地元からは、この条件として①大篠小の運輸省サイドでの改築②カット後の跡地を市民のいこいの場として利用できる諸施設を③周辺の整備、の3点が出されていましたが、11月末の小笠原市長らの陳情により、運輸省から「大篠小を改築する」との回答がえられ、地元も了承し、来年3月末までにジェット機の飛行に必要な57.43m（いこいの場づくりのためにさきに必要……）までの切り取りが決定しました。

11月

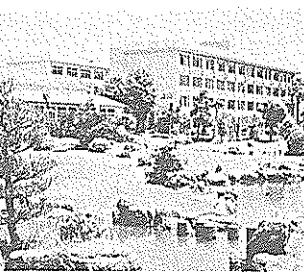
農業高校が90周年

農業学校として全国で4番目、本県でも小津、追手前高校に次ぐ古い歴史を誇る県立高知農業高校が、創立90周年を迎えました。

遠く外圍にまで送り出した卒業生は、これまでに1万4千名、国の基幹産業である農業と共に生き続け、各方面で活躍しています。

現在、校舎改築4カ年計画の2カ年目で、この計画が完了すればすばらしい学校として、新たなスタートを迎えることになります。

11月17日の組織総会では、会長に田村英実氏が、会長代理に溝渕正氏が、農地部会長に北村茂樹氏、農振部会長に中沢芳寛氏がそれぞれ就任、これから本市農政の目付役として、新たな体制でスタートをきりました。



農業委員6年ぶりに選挙

本市農業委員は40名ですが、そのうち30名は公選委員となっています。今年は32名の立候補で、定数をオーバー、6年ぶりの選挙（11月2日投票）となりました。

11月17日の組織総会では、会長に田村英実氏が、会長代理に溝渕正氏が、農地部会長に北村茂樹氏、農振部会長に中沢芳寛氏がそれぞれ就任、これから本市農政の目付役として、新たな体制でスタートをきりました。

9月



大篠地区、周辺環境整備 推進会を結成

「ジェット機就航には、吾岡山を約6mカットしなければならない」ことが54年末決定されました。

大篠地区では、それまで、吾岡山の公園化や運動場化、大篠小の改築など、別々に運動してきましたが、この決定により、それらをまとめた「大篠地区周辺環境整備推進会」をこの9月に結成して、①大篠小の改築②カット後の跡地利用③地区周辺環境整備をテーマに、その実現をめざしてスタートしました。

9月

『阿佐線対策特別委』発足

後免と徳島県牟岐を結ぶ「阿佐線（延長125km）」は、昭和40年から工事がはじまり、これまでに全体の約40%が完成したものの、国鉄の財政再建問題とからみ、「第3セクター」の設立がなければ工事の継続ができないという、むつかしい状況にたたされました。

阿佐線建設は、後免駅周辺の町づくりなど、本市にとっても大きな問題。9月には、市議会議員10名で構成する「阿佐線対策調査特別委員会」がスタートし、調査を進めていくことになりました。



9月 財政再建審議会が再開

昭和49年「財政ピンチ」の声とともに深刻さが表面化した「市の財政」。

昭和51年から、なんとか市の財政を立て直そうと「南国市財政再建審議会」を設置、第1次再建計画がスタートしました。昭和53年度からは、一般会計が黒字に転じたものの、公社に対する負債が多額で、比江山を処分したもののが赤字解消にはまだ10数年かかります。9月12日、1年ぶりの会合が開かれ、第2次再建計画がスタートしました。

12 1

市民カレンダー

12月21日から1月10日まで

●健康相談など

内 容	地区	日	曜	時 間	場 所	対 象
乳児検診	前浜	23	火	1:30~2:00	南部福祉会館	生後2ヶ月~1年2ヶ月
乳幼児相談	日章	22	月	9:00~12:00	日章保健婦室	乳幼児
	久礼田	24	水	1:30~3:00	植野公民館	乳 児
	国府	25	木	"	市農協国府支所	"
	稻生	9	金	10:00~3:00	稻生地区公民館	"
	健康相談	日章	25	木	1:00~3:00	田村西部公民館
リハビリ相談	大篠 野田	9	金	1:00~4:00	市役所医務室	

●休日在宅医

日	曜	当 番 医	電 电 話
21	日	西川診療所(物部)	④-2751
28	日	谷医院(片山)	⑤-8335
29	月	秦泉寺内科(大塙)	③-3928
30	火	市原内科小児科(大塙)	③-3915
31	水	岡豊病院(小蓮)	0888-2345
1	木	山本内科(東崎)	④-2575
2	金	藤原病院(大塙)	③-1212
3	土	曾根産婦人科(大塙)	③-5318
4	日	西田順天堂内科(大塙)	③-1881

●金属類の収集

日	曜	地 区
24	水	物部、稻生、大篠
7	水	野田、後免、長岡

一般家庭ゴミ

正月3日間は収集を休みます。
来年は5日(月)から従来どおり収集をはじめますので、ご協力ください。

●金属以外の不燃物の収集

日	曜	地 区	日	曜	地 区
22	月	国府、岩村	30	火	立田
23	火	笠ノ川、八幡、小蓮、定林寺、滝本、蒲原	31	水	田村
24	水	中島、常通寺島、江村、小竈、三軒家	5	月	十市南部
25	木	植田、久礼田	6	火	里改田、片山
26	金	植野、領石	7	水	浜改田
27	土	瓶岩、上倉	8	木	稻吉、西窪、新川
29	月	十市北部、前浜、下島、久枝	9	金	山崎、八木、田井、関、竹中、西野々、住吉野、伊達野、南海学園
			10	土	篠原、明見

南国市役所……783南国市大塙甲2301 3-2111(代)

領石支所2-0020 岡豊支所4-2423 三和支所5-8332 十市支所5-8401

水道局3-1234 市民体育館4-3498

市 の 統計

11月

…5.11.30現在…

《面 積》

124.98 km²

《人の動き》

人口 45,691人 (15増) 前月比

うち男 22,291人

女 23,400人

世 帯 14,485世帯

出 生 35人

死 亡 34人

転 入 126人

転 出 112人

《交通事故》

昨年11月

発生件数 26件 (22件)

死 者 0人 (0人)

傷 者 38人 (30人)

《火 災》

昨年11月

発生件数 0件 (2件)

うち建物 0件

林野 0件

被 害 額 0万円 (10万円)

《救 急》

昨年11月

出動回数 92回 (81回)

うち急病 38回

交通事故 18回

一般事故 20回

その他 16回

《建築確認申請》

33件

《開発許可申請》

8件

●電線の近くでの釣りあげはやめよう